

四年 山口瑞貴

私のライバル ガンダム

ガンダムへ

とつぜんだけど、あなたは私のライバルです。どうしてかという、パパがあなたのことを、すごく好きだからです。

パパは、いつも仕事で家にいないから、日曜日だけが、私がパパとすごせる大切な時間です。それなのに、パパがガンダムを見始めてしまうと、返事をしてくれなくなります。何回、よんでも聞こえないので、耳の近くで

「パパ！レ

と言わないと、だめです。

その上、外に行きたがりません。おしりが

床にはりついたりしたいに、びくともしませんが

そんなパパが、少し前に、

「ガンダムに会いに行こう。」

と、言いました。私は、せっかくのお出かけなのに、ライバルのガンダムに会うなんて、；と思いましたが、パパが一人で行く、ちやうのむいやなので、レ富士レ連いて行きます。

した。

そこには、実物大という大きなあなたが、立っていました。人、人、人でうめつくされていました。みんなパパと同じでした。口をあんぐりあけて、大きなカメラで、パシヤパシヤ何枚も写真をとって、うつとり見上げていました。中には、泣いている人もいて、すごくびっくりしました。パパみたい、が、インダム、あなたをすきな人は、たくさんいるんですね。

今週の新聞には、おとなりの国 中国でもあなたは大人気で、大学で研究もされていると書かれています。日本だけでなく、他の国でもあいされているんですね。

アニメは子どものものかと思っていただけけど、大人でも、こんなにすきなんだね。それも、自分が子どものときから、ずっとすきだなんて、すごいよね。そう思ったら、ガンダムのことは、ライバルだけど、すごく気になりました。どこに、そんなパワーやみ力があ

るのか、知りたくなりました。

だから、この前、パパといっしょに、あな
たのアニメを初めて見ました。

気がついたら、ママが少しふくれていまし
た。

「パパだけじゃなくて、みーちゃんまで、ガ
ンダムのとりになっちゃったの？何回も

よんだのに、返事がないんだけど！」

と、言われてしまった。まだまだ、ガンダム

初見者の私だけど、これからは、ライバルジ

やなくて、パパといっしょに、ガンダムを好
きになるよ。きつとね。